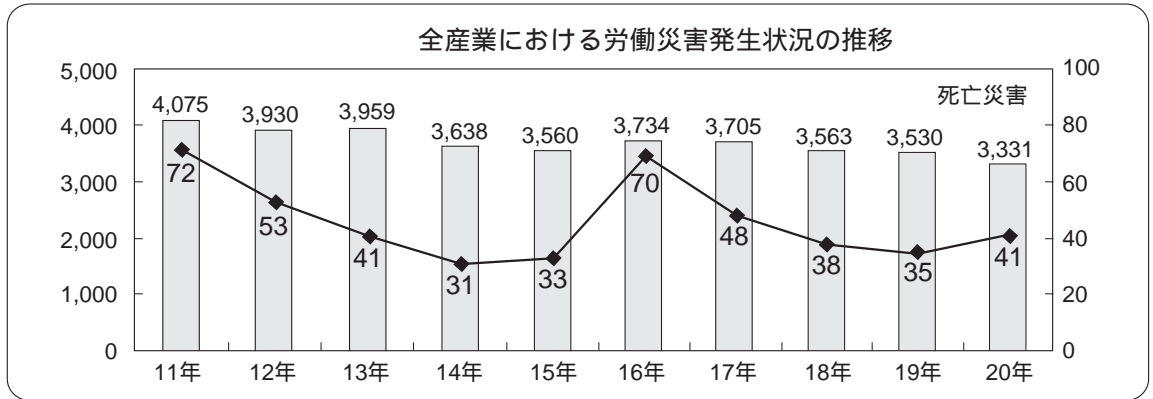
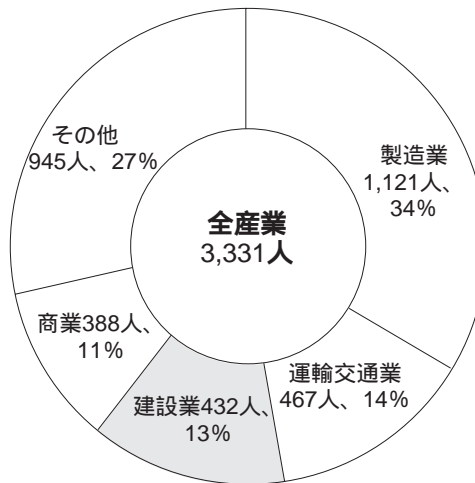


広島県における労働災害発生状況の推移 広島労働局（平成20年 確定分）

（死亡災害及び休業4日以上の死傷災害）



業種別死傷災害（平成20年）



全産業（死亡災害及び休業4日以上の死傷災害）

平成20年の事故の型別、起因物別、規模別、年齢、災害の程度別の労働災害発生状況

(1) 事故の型別労働災害発生状況

(2) 事故の起因物別労働災害発生状況

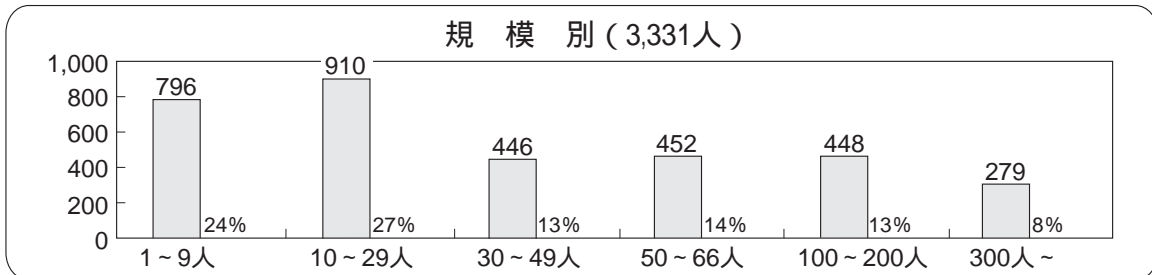
事故の型別（3,331人）

転倒 611人 墜落・転落 581人
 挟まれ・巻き込まれ 515人
 動作の反動・無理な動作 336人
 切れ・こすれ 266人
 激突され 247人 飛来・落下 237人
 交通事故 236人 その他 291人

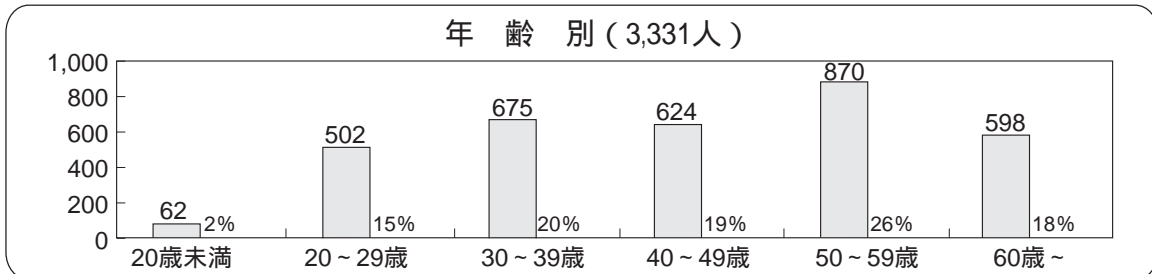
起因物別（3,331人）

仮設物・建築物・構築物等 805人
 動力運搬機 400人 用具 294人
 乗物 257人 材料 235人
 一般動力機械 199人
 入力機械工具 195人
 荷 188人 金属加工用機械 119人
 環境等 99人 木材加工用機械 101人
 その他 439人

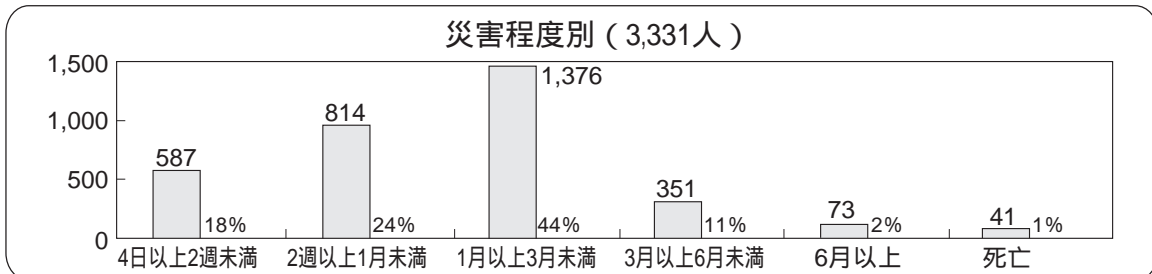
(3) 事故の規模別労働災害発生状況



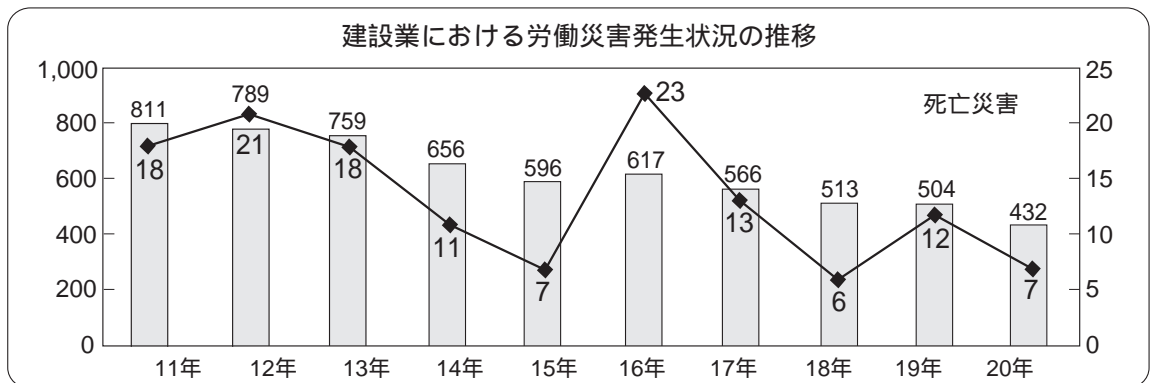
(4) 年齢別労働災害発生状況



(5) 災害の程度別労働災害発生状況

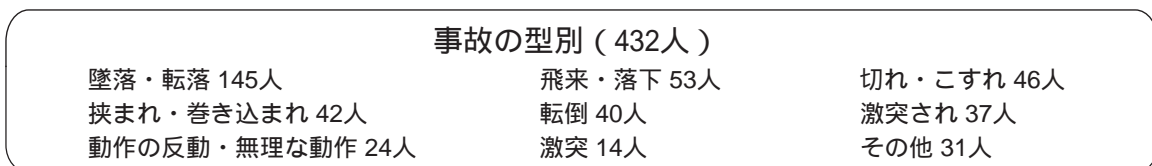


建設業 (死亡災害及び休業4日以上之死傷災害)



平成20年の事故の型別、起因物別、規模別、年齢、災害の程度別の労働災害発生状況

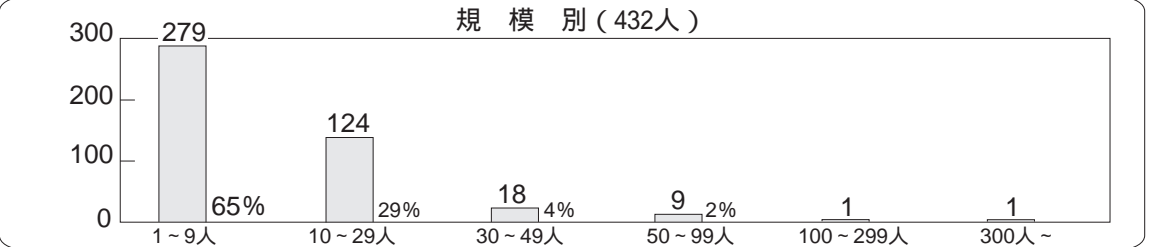
(1) 事故の型別労働災害発生状況



(2) 事故の起因物別労働災害発生状況

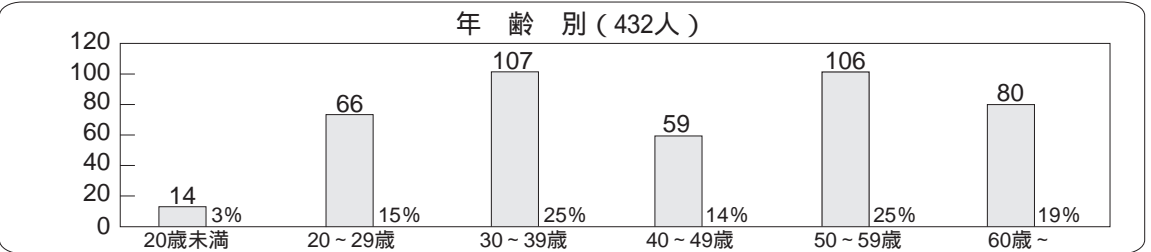


(3) 事故の規模別労働災害発生状況



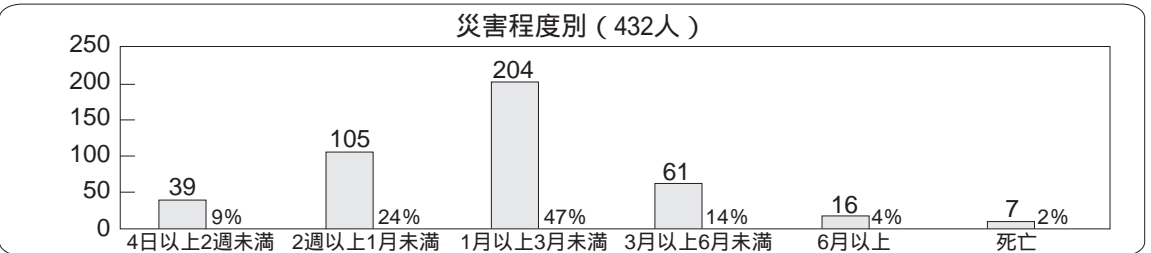
(4) 年齢別労働災害発生状況

死傷災害432人を被災者の年齢別に分類すると、「30~39歳」107人「50~59歳」106人と多く、次いで「60歳以上」「20~29歳」の順になっている。50歳以上の労働者の割合は、186人で全体の43%を占めている。



(5) 災害の程度別労働災害発生状況

死傷災害432人を被災者の災害程度別に分類すると、1月以上の重傷災害は288人（67%）の被害が発生している。



分会別災害発生状況 (死傷病報告による)

広島労働局 (平成20年 確定分)

分会別	全 産 業							建 設 業							平成20年 建設業/全産業 (%)
	平成19年			平成20年			増減数	平成19年			平成20年			増減数	
	死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計		死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計		
広島	7	1,033	1,040	6	1,018	1,024	-16	3	117	120	0	102	102	-18	10.0
呉	2	301	303	6	328	334	31	1	45	46	0	44	44	-2	13.2
福山	8	708	716	9	656	665	-51	2	120	122	4	99	103	-19	15.5
三原	6	258	264	8	253	261	-3	1	38	39	1	42	43	4	16.5
尾道	2	255	257	5	208	213	-44	2	28	30	0	34	34	4	16.0
三次	4	225	229	3	194	197	-32	1	43	44	1	33	34	-10	17.3
広島北	2	402	404	2	406	408	4	0	66	66	0	52	52	-14	12.7
廿日市	4	313	317	2	227	229	-88	2	35	37	1	19	20	-17	8.7
合計	35	3,495	3,530	41	3,290	3,331	-199	12	492	504	7	425	432	-72	13.0